

1 単元名 Lesson 4 The Olympics (VISTA English Communication I, 三省堂)

2 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標

話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
①趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば簡単な質疑応答をすることができる。 ②事前に用意して日常生活のできごとを簡単な単語や基礎的な句や構文を使って複数の文で易しく描写できる。	①趣味や好き嫌いについて複数の文で簡単な表現を使って書くことができる。	①ゆっくりと話される、自分自身の学校、地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	①簡単な語を用いて書かれた人物描写、日常生活や文化紹介など説明文や短い物語、伝記などを理解することができる。
● 教師の問いへの応答	● ワークシートへの記述内容とその取り組み ● 小テスト ● 定期考査	● 教師の問いに対する理解 ● ディクテーション ● 定期考査	● 音読活動 (Read & Translate 他) ● 音読テスト ● 暗唱テスト

3 単元の目標

- ペア・グループで協力し、積極的に情報や考えなどを伝えようとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 聞き手がいることを常に意識して、発音・強勢・区切りなどに注意しながら、相手に伝わるように英語で音読や発表をすることができる。
(外国語表現の能力) ※話すこと②
- オリンピックの歴史や目的、様々な変化についての説明文を読んで、概要や意義を理解することができる。
(外国語理解の能力) ※読むこと①
- SVO(O=that～), SVOO, SVOC の構文について理解している。
(言語や文化についての知識・理解)

4 指導に当たって

(1) 教材観

本単元は、成長し続けるオリンピックの歴史と目的について紹介し、競技参加者の数や種目といった様々な変化に焦点を当て、スポーツが持つ教育的価値や社会的責任を唱えている。なぜオリンピックが始まったのか、その起源と変化の意義について考えることで、(2年後の東京オリンピックを含む)スポーツへの関心を深めることができる内容である。

(2) 生徒観

本学級は商業科であり、全体を通じて、まじめかつ意欲的に学習に取り組むことができるクラスである。担当している人数は*人と非常に小さな学級ではあるが、授業中の発問に対しては積極的に返答・発言ができる子が多いといえる。しかし、英語に対する強い苦手意識を持っている生徒が若干名おり、基礎学力の定着度にばらつきが大きいクラスである。また、各個人が人前で発表する状況になると恥ずかしさから声が小さくなってしまおうという課題もみられる。英語学習については、音読や書くことなど積極的に取り組むことができる。

(3) 指導観

入学当初は「英(単)語を読む」という段階で困難を覚える生徒が多かったため、新出語彙や教科書本文を中心に正しい発音で読むことを目指した活動を積極的に導入した。その結果、教科書レベルの基礎的な語彙はサポートしなくてもある程度読むことができるようになった。

次のステップとしては、英語を使って人に何かを伝えることができるようになってほしいという段階を考えている。そのため、本時では自国開催で話題にもなっているオリンピックをテーマに、

各生徒がオリンピックの魅力等について簡単な英語で発表できるレベルを目指すこととする。

5 指導計画（5時間扱い）

時	学習単元	学習内容	評価の観点				評価の規準〔方法〕
			関	表	理	知	
1	○単元の導入 ○Section 1 の本文理解	・本課の内容の導入 ・新出単語及び本文の内容確認			○		・古代ギリシャに起源をもつオリンピックの歴史についての説明文を読み、概要と要点を理解できる。〔ワークシート〕
2	○Section 2 の本文理解 ○文法理解	・新出単語及び本文の内容確認 ・SVO~の確認			○		・SVO(O=that~)の知識を身に付けている。〔筆記テスト（後日）〕
3	○Section 3 の本文理解 ○文法理解	・新出単語及び本文の内容確認 ・SVOO, SVOC の確認			○		・SVOO, SVOC の知識を身に付けている。〔筆記テスト（後日）〕
4	○プレゼンテーションに向けた準備	・原稿作成 ・ペアごとの発表練習		○			・2年後の東京オリンピックで自分ほどの競技を観に行きたいか、競技の魅力や自分の考えを簡単な英語でまとめることができる。〔ワークシート（第5時に提出）〕
5 本時	○プレゼンテーション	・グループに分かれて、各自がまとめた考えを発表する。 ・発表を聞き、質疑応答を行う。 ・相互評価を行う。 ・自己評価を行う。	○	○			・各オリンピック競技の魅力や観たい理由について、聞き手にわかりやすく伝えることができる。〔発表〕 ・積極的に情報や意見を相手に伝えようとしている。〔観察〕

6 本時の指導と評価の計画

(1) 本時のねらい

- オリンピック競技の魅力や観たい理由について、聞き手にわかりやすく伝えることができる。
(外国語表現の能力)
- 積極的に情報や意見を相手に伝えようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 準備・資料等

ワークシート, 自作補助教材 (パワーポイント), プロジェクター

(3) 本時の展開 (5時間扱い)

学 習 活 動	指導上の留意点 (◎は評価, ○は主体的な学びの視点)
1. Greeting & Small Talk (2 min) 挨拶と授業の流れに関する確認 ・ Small Talkをする。 ・ 教師の話聞き、本時の流れを確認する。	・ Small Talkを通して授業の雰囲気作りをする。 ・ 生徒の様子を見て、理解度を確認しながら説明する。
2. Reading (8 min) 本文の音読活動 ・ 音読用ワークシートで練習する。 ・ 可能な生徒は、虫食いver.で練習する。 ・ ペアで行ない、正しい発音で読めているかなどを確認する。	・ 音読は自信を持って大きな声で読むように促す。 ・ 意味を意識させるとともに、可能な生徒には顔を上げて読むように伝える。 ○各単語・英文を正しい発音で読めるようになろうと試みている。〔観察〕
3. Preparation & Practice (17 min) プレゼンテーションの準備と練習 ・ プレゼンテーションの方法と評価方法を理解する。 ・ 教師の見本プレゼンを見て、質疑応答ま	・ 評価のポイントを明確にする。 ・ 準備してきた原稿を参考に、簡単な英語でいいので積極的に取り組むよう促す。 ・ 発表者は、声量・姿勢・抑揚などに注意するように伝える。また、発表練習時は相手に原稿を持たせるなど、手元で見ないための工夫をさせる。

<p>での流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目を意識して練習する。[個→ペア] 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手には、評価項目を意識して聞くことと、質問を考えておくことを指示する。 ・用意した原稿を参考に、自分が考える各競技の魅力等を相手にわかりやすく伝えられるように、個人からペアへと段階的に無理なく練習に取り組ませる。
<p>4. Presentation (18 min) プレゼンテーションによる発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【発表〔3人×3グループ〕→質疑応答→(相互)評価】の順に沿って行う。 ・他の人の発表を聞いて、ポイントとなる情報はメモを取る。 ・聞く側は、発表者へ最低1回質問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習のときに指示した内容を再度意識させる。 (発)：声量・姿勢・抑揚などに注意を払う (聞)：評価する項目の確認と、積極的に質問をする。 ・重要な情報は、メモを取りながら聞くように指示する。加えて、1人1回は発表者へ質問するように促す。 ◎顔を上げて(≒原稿に頼りすぎずに)、オリンピック各競技の魅力や自分の考えを、聞き手にわかりやすく伝えることができるか。 [発表] ◎発表者のプレゼンテーションをしっかりと聞き、メモを取りながら活動に取り組んでいる。また、発表内容に応じた質問をしようとしているか。 [活動の観察]
<p>5. Summary (5 min) 本時のまとめと振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返り、自己評価の欄に記入する。 ・不明だった点などはコメント欄に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に合わせて作られた「自己評価シート」に評価を記入させる。 ・必要に応じて、コメント欄に質問などを記載させる。